

ハトムギ栽培のポイント～圃場準備から播種～

- ◎早めの排水対策実施で、圃場条件を整えましょう！
- ◎適期・適正な播種作業で、生育量を確保しましょう！



ハトムギは、
JAアルプスの
「重点地域振興作物」
だよ！

1 圃場準備

- ・病害虫を抑えるために、連作は避けましょう。
- ・額縁排水溝は早めに設置し、圃場を乾かしましょう。
- ・耕起前に雑草が多い圃場は、除草剤を散布しましょう。

表1 耕起前除草

薬剤名	適用雑草	使用時期	使用量		使用方法	総使用回数
			薬量	希釈水量		
ラウンドアップ マックスロード	1年生雑草	耕起前又は 播種前 (雑草生育期)	500ml	100ℓ	雑草茎葉散布	2回

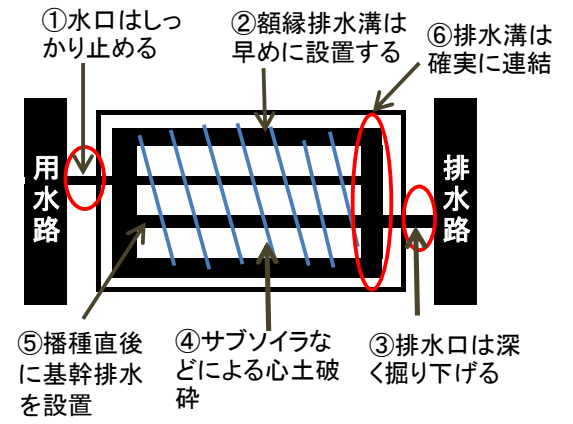


図1 排水対策手順例

2 土壌改良資材散布

- ・適正土壌 pH6.0～6.5 を確保するため、粒状貝化石を 150kg/10a 散布しましょう。

3 種子消毒

- ・病害発生防止のため、必ず種子消毒を行いましょう。
- ・消毒済み種子は、2日以内に播種してください。

表2 種子消毒

薬剤名	対象病害	希釈倍率	使用方法
ベンレートT水和剤20	葉枯病、黒穂病	200倍	72時間浸漬

消毒終了後は速やかに
水を切って風乾し、
芽が伸びすぎないように
注意してください。

注意!



写真1 芽が伸びすぎた種子

4 耕起・砕土

- ・耕起～播種、作溝の一連の作業は、必ず好天日の、圃場が乾いた状態で行いましょう。
- ・砕土率を高めるため、耕耘作業は速度を落とし、丁寧に行いましょう。

5 播種

- ・適正な播種量、播種深度となるよう、播種前に播種機の調整を行うとともに、作業中も随時確認しましょう。

表3 播種の目安

播種適期	播種量	目 安		播種深度
		条間	m当たり粒数	
5月下旬～6月20日頃	3kg/10a	80～85cm	12～13粒	3～4cm



写真2 大豆播種機による播種

6 施肥

生育量確保のため、播種は遅くならないよう、計画的に作業を実施！

- ・規定量を確実に施用し、生育量を確保しましょう。

表4 施肥の目安

肥料名	N-P-K	施肥量 (kg/10a)	施肥のポイント
LPIはとむぎ専用	30-8-8	40～50	播種時側条施肥で施用できなかった分は 1回目培土直前に追肥し、その後直ちに培土する

7 除草剤散布

- ・播種後ただちに除草剤を散布しましょう。

表5 播種後除草剤

薬剤名	適用雑草名	薬量 (ml/10a)	使用方法
サターンバアロ乳剤 +	水田1年生雑草 +	500	全面土壌散布
ゲザプリムフロアブル	1年生雑草 播種直後から出芽前 (雑草発生前)まで	200	希釈水量100ℓ、 2剤混用



ハトムギは
初期生育が緩慢なので、
雑草を確実に抑え、
生育を促しましょう！

写真3 播種後 18 日目の状況